

令和7年度 雲仙市入札監視委員会 第2回定例会 議事概要

開催日時	令和8年1月28日（水）午後2時00分～午後4時10分
開催場所	市役所本庁舎3階 第1会議室
委員	<p>中村 聖三 委員長（長崎大学大学院 工学研究科 教授）</p> <p>川島 陽介 委員（弁護士）</p> <p>山口 純哉 委員（長崎大学 経済学部 准教授） 欠席</p> <p>重野 淳 委員（公募委員） 欠席</p> <p>平山 和孝 委員（公募委員）</p>
次第	<p>▶抽出案件の審議</p> <p>①雲仙市環境センター基幹的設備改良工事発注仕様書等作成業務</p> <p>②瑞穂浄化センターブロワ取替工事</p> <p>③南串山文化センター解体工事実施設計業務</p> <p>④南串第二小学校校舎等トイレ改修工事実施設計業務</p> <p>⑤鶴田小学校渡り廊下改修工事</p> <p>⑥愛野保健福祉センター空調設備更新工事</p> <p>⑦水道用地内建物解体工事</p> <p>⑧市道瑞穂大川栗林1号線測量設計業務 他 測量業務</p>
市出席者	<p>財務部長 三宅 隆浩</p> <p>【事務局】</p> <p>契約検査課長 山口 定征</p> <p>契約検査課課長補佐 井上 真</p> <p>契約検査課参事補 相川 貴志</p> <p>【工事担当課】</p> <p>環境政策課 川井課長、松石参事、城戸参事補</p> <p>下水道課 立山課長補佐、吉村参事補</p> <p>生涯学習課 中島参事、深堀主査</p> <p>総務課 木場参事補、村尾主査</p> <p>健康づくり課 荒木課長、和田参事、川原参事補</p> <p>水道課 富永課長、廣瀬課長補佐</p> <p>道路河川課 横田課長、川島課長補佐、長田主事補</p>

指名停止措置案件の報告	
質問・意見	回答
<p>市が指名停止を判断する事務の流れ、判断について</p>	<p>今回の審議対象期間において、指名停止措置の7件を報告。</p> <p>他自治体での指名停止については、相互通報で情報を把握する。指名停止の判断については、雲仙市建設工事競争入札審査委員会で審議され、「雲仙市工事請負契約等に係る入札参加資格者指名停止の措置要領」等に基づき判断される。</p>
入札結果全体概要報告	
質問・意見	回答
<p>不落後の対応について</p> <p>次回以降、可能であれば前年との比較や数年間の傾向などの表があると理解が進むので検討をお願いしたい。</p> <p>また工種ごとの落札率の平均などがあれば、区分ごとの状況把握が進むのであわせて検討をお願いしたい。</p>	<p>1件の不落の理由については、施工場所の条件で、人力による資材等の運搬や施工があり、この現場条件が影響した。</p> <p>不落であった案件は、他の工事の進捗にも関連する業務内容であったため、実施の期限もあり、担当課による随意契約・見積合わせで対応を実施した。</p> <p>今後改善を図っていきたい。</p>
審議1 雲仙市環境センター基幹的設備改良工事発注仕様書等作成業務	
質問・意見	回答
<p>5者応札しているにもかかわらず、落札可能範囲の入札が落札業者のみで、他社はすべて超過であり、入札結果にやや不自然さを感じる。</p>	<p>担当課による再精査の結果、主任技師等の労務単価について、参考図書に単価の適用時期を明示していなかった。結果、他の事業者は予定価格を超過し、落札業者は旧単価ベースの予定価格内に収まる金額を提示した。</p>

<p>なぜ落札業者 1 社だけが、これほど安く積算できたのか、その理由は把握しているのか。</p> <p>単価の切り替わり時期など、ミスが起きやすい場面では、人の注意に頼るのではなく、ミスが起きない仕組みを作ることを検討したほうが良い。</p>	<p>雲仙市公正入札調査委員会を開催し、新単価で再積算した結果については、予定価格の範囲内に入る業者は複数（落札者以外にも）現れるものの、落札者の順位に変動はなかったことを確認し、契約はそのまま継続するという判断を行った。</p> <p>落札業者は、過去に同センターの関連業務を複数受託しており、施設の特性や業務内容を熟知していたと考えられる。それにより必要な人員を他社より合理的に積算できたことが要因ではないかと推測している。</p> <p>設計積算時の注意事項を整理し、職員への周知・指導を徹底したい。</p>
--	---

審議 2 瑞穂浄化センターブロワ取替工事

質 問 ・ 意 見	回 答
<p>入札額にばらつきがあり、実質 2 者の争いになっている。</p> <p>これだけの価格差が生じた理由、2 者のみ適切な入札ができていない理由を確認したい。</p> <p>積算能力の差がそのまま競争力の差になり、特定の業者しか勝負できない状況が続くのであれば市にとってデメリットとなるので、業者の積算能力や技術力を底上げし、健全な価格競争が行われる環境を整えるような施策を検討するのも一案である。</p>	<p>内訳書を確認すると、機器費や直接工事費は市と比較し差はわずかである。差が開いた主因は諸経費（一般管理費など）の算出であると考えられる。</p> <p>2 社だけが正確に積算できている理由については、下水道積算指針に基づいた「積算システム」を所有している企業と、そうでない企業で差が出たものと推測される。システムを持たない企業は、市が求める区分ではなく自社独自の経費率を適用したため、結果として高額な入札になったと考えられる。</p>

審議 3 南串山文化センター解体工事実施設計業務

質 問 ・ 意 見	回 答
<p>辞退でなく不参加の事業者の理由を知りたい。</p> <p>指名競争入札において、指名されながら通知も見ないというのは指名業者としての適格性に欠けると思われる。不参加を防ぐためのルール（制度）を検討すべきではないのか。</p>	<p>業者への聞き取りの結果、1者は「業務多忙で電子入札の通知を見逃していた」・「届出を忘れていた」が複数回続いていた。もう1者は「他業務のトラブル対応で入札できなかった」であった。</p> <p>この区分については業界の団体も存在しており、以前不参加への注意を周知していただいた経緯もあり、再度その団体を通じて不参加をなくすよう話し合い、働きかけを行っていきたい。</p>

審議 4 南串第二小学校校舎等トイレ改修工事実施設計業務

質 問 ・ 意 見	回 答
<p>入札参加者中、複数者が同額となっている。落札した同額3者の抽選の方法を教えてください。</p>	<p>電子くじは、公平に落札者が決定するよう、プログラムで自動的にくじが実施される。</p> <p>入札書の提出時に入力する「くじ番号」と「入札書提出日時のミリ秒（3桁）」の二つの合算値をもとに、落札者を決定する。</p> <p>システムは全国の自治体で広く採用されている「電子入札コアシステム」に基づいている。</p>

審議 5 鶴田小学校渡り廊下改修工事

質 問 ・ 意 見	回 答
<p>落札者以外すべて失格となっている。最高額入札が落札になっている。最低制限価格の設定に問題はないのか。</p>	<p>内訳書を確認し、各社、直接工事費は市の積算額に近く、正確な積算を行っていた。</p> <p>最低制限価格は、ダンピング受注の排除や施工品質の確保が主な目的である。</p> <p>またランダム係数については、令和6年4月から係数の範囲を狭める改善を行っている。</p> <p>現時点では、官製談合の防止や適正な価格での入札努力を促すために有効な手段だと考えている。</p>

審議 6 愛野保健福祉センター空調設備更新工事

質 問 ・ 意 見	回 答
<p>落札者以外すべて失格となっている。 最低制限価格の設定に問題はないのか。</p> <p>各社の直接工事費の算出が、極めて狭い範囲に集中した要因は何かあるのか。</p> <p>各社の見積が同じ価格帯で揃っていることから、市の積算が実勢価格より高めに設定されていたのではないかと。</p>	<p>内訳書を確認し、各社、直接工事費は市の積算額に近く、正確な積算を行っていた。受注意欲が高く、各社、最低制限価格のラインを目指しての応札であり、失格者が多かった。</p> <p>設計単価のうち大部分が「機械設備の金額」であり、これらが公表単価として事前に示されていた。積算の大部分が固定されていたため、見積金額が似通ったものになった。また本工事は空調設備工事という専門的かつ限定された内容であり、他工事に比べて材料の選択肢や労務費の計算（歩掛）が限られていたため、積算の難易度が低かったことも影響している。</p> <p>費用の大半を占める機器の価格は、3社から見積もりを徴収した上で価格を設定している。ルールに基づいた適切な積算を行っている。</p>

審議 7 水道用地内建物解体工事

質 問 ・ 意 見	回 答
<p>入札額にばらつきがあり、どこも本気で取りに来ているような感じがしない入札結果となっている。その理由が検証できているか確認したい。</p> <p>解体工事は新築と異なり標準的な単価を決めるのが難しいのではないかと考えるが、どのように発注しているのか。</p>	<p>内訳書を確認したところ、刊行物(物価資料)などの単価を取り違えている業者が複数存在した。市の積算自体に誤りはなく、純粹に業者ごとの積算精度の乖離が、金額のばらつきに直結していると考えられる。</p> <p>市側で足場の面積、防音シートの範囲、産業廃棄物の運搬処分費、屋根や建物の解体面積などの「数量」をあらかじめ提示している。業者は、その数量に対して刊行物(物価資料)や県の単価を当てはめて、積算を行っている。</p>

<p>解体工事は毎回ばらつきが大きいイメージがあるが、業界特有の理由があるのか。</p>	<p>過去には産業廃棄物の重量(t)を体積(m³)で計算してしまうようなミスが多く見受けられた。解体工事の許可を持っている業者の多くは「土木業者」だが、実際の積算内容は「建築的要素」が強い。このため、積算精度の差が出やすいと考えている。</p>
<p>審議 8 市道瑞穂大川栗林 1 号線測量設計業務 他 測量業務</p>	
<p>質 問 ・ 意 見</p>	<p>回 答</p>
<p>業務中では相対的に落札率が高い。 各入札における応札率の分布が類似しており、落札者のみがおおむね 93%程度、それ以外は 95%程度以上となっている。 落札者が順番に決まったりしていないか確認したい。</p> <p>測量業務の落札率が他業務に比べて相対的に高い理由は何かあるのか。</p> <p>落札結果の傾向については、引き続き、きめ細やかな実態把握に努めていただきたい。</p>	<p>透明性確保のため、登録業者の市内や近隣市といった地域区分や、参加機会の均等や実績状況を考慮した選定を行っており、業者の固定化が生じないように努めている。また、指名競争入札において、どの業者が参加しているかは互いに把握できない環境を整えており、競争性は確保されていると考えている。</p> <p>令和 3 年度から 7 年度までの落札状況を精査したが、特定の業者が定期的に受注している事実は確認できず、受注機会の固定化や作為的な受注の傾向の確認を行った。</p> <p>近隣市や県内自治体の測量業務の平均落札率を調査したが、雲仙市の落札率は他市と比較して高いという状況ではない。</p>
<p>審議案件に関する委員会の所見</p>	
<p>入札及び契約の過程並びに契約の内容等の透明性や競争確保について、大きな問題は認められない。</p>	